

2020 年度 一般社団法人聖路加看護学会 定時評議員会議事録

日時：2020 年 6 月 12 日（金）18：00～19：30

場所：（聖路加国際大学 2 号館 1 階 ぼるかルーム）（評議員は WEB による参加）

出席：

評議員：松谷美和子（理事長）、亀井智子（理事）、吉田俊子（理事）、宮原晴子（理事）、
中村めぐみ（理事）、奥裕美（理事）、山本あい子（監事）、菱沼典子（監事）
平林優子（第 25 回学術大会会長）
會田信子、有森直子、梅田恵、真田弘美、中山洋子、水戸優子、吉田千文

委任状：14 通

指名理事：小林京子（庶務）、朝川久美子（会計）

選挙管理委員：佐居由美（西野理英委員長欠席のため代理出席）

議事録作成者：松谷美和子理事長

議 題

1 理事長挨拶

- ・ 2 期、4 年間理事長を務め、本日をもって次期理事長に引き継ぐこととなった。この間の評議員、会員の皆さまのご協力に感謝しつつ、次期理事長の亀井智子氏に引き継ぎたい旨が伝えられた。

2 出席者数の確認：定款第 21 条

- ・ 出席 17 名、委任状 14 通、合計 31 名の出席が認められた。
- ・ 定款第 21 条により、評議員会の成立のために必要な評議員（33 名）の過半数（16 名）以上が出席していることから、本会が成立することが確認された。

3 議事録署名人の指名：定款第 24 条第 2 項

- ・ 水戸優子評議員、吉田千文評議員が指名され議事録署名人に任命された。

4 議事

1) 2019 年度事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料 1

(1)理事会報告

- ・ 資料 1 に基づき説明された。
- ・ 2019 年度、理事会は対面、書面合わせて 10 回開催された。

(2)定時評議員会報告

- ・ 資料 1 に基づき、2019 年 6 月 7 日に行った定時評議員会について報告された。

(3)庶務・会計

- ・ 資料 1 に基づき報告された。
- ・ 例年の業務のほか、会員との交流を目的にメーリングリストを作成したこと、看護系学会等社会保険連合の理事長に本学会からの推薦である山田雅子氏が就任していることが報告された。

(4)会計報告

- ・ 資料 1 に基づき報告された。
- ・ 2019 年度に入会金を廃止し、年会費を 10,000 円に値上げしたこと、事務局における事務業務が増加していること、引き続き予算削減につながる努力をしていることが報告された。

(5)学会誌編集委員会

- ・ 資料1に基づき報告された。
- ・ メディカルオンラインへの登録を行い会員に ID/PW を付与したこと、学会誌の刊行方法を検討するため、会員にアンケートを送付したこと（締め切りは7月末）、EBSCO 社による多言語誌を収載する新たなサービス（EBSCO アルティメット）への登録を検討していることが、報告された。

(6)広報委員会

- ・ 資料1に基づき報告された。
- ・ メーリングリストを昨年8月に開始し、リストの管理・運営を行っていることが報告された。

(7)学術交流委員会

- ・ 資料1に基づき報告された。
- ・ 研究助成額を20万円としたこと、今年度の学術交流委員会主催講演会は、感染症予防の観点から、中止が決まったことが報告された。

(8)高度実践看護開発検討委員会

- ・ 資料1に基づき報告された。

(9)将来構想委員会

- ・ 資料1に基づき報告された。

2) 2019年度決算および監査報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料2-①②③

- ・ 資料2のとおり報告された。
- ・ 決算および監査報告があった。

以上の1) 2019年度事業報告、2) 2019年度決算および監査報告について、承認された。なお、以下の2点について意見があった。

- ① 学術集会の開催方法について、Web開催など、どこにいても参加しやすい実施方法の可能性を検討してほしい。
- ② 学会誌への投稿数の増加にもつながるため、教育実践を研究論文として発表することへの支援を推進する。

上記の意見について、学術集会については感染症の蔓延もあり、Web開催等、様々な実施方法を模索していくこと、投稿支援については現在現場の実践（主にCNSによるもの）を論文にまとめることを支援していることが報告された。

3) 2019年度選挙報告（評議員、次期理事・監事の選任）・・・・・・・・・・資料3

- ・ 資料3に沿って説明された。
- ・ 今回役員（理事・監事）選挙を2回行なうこととなった。原因は、被選挙人名簿に「被選挙権を有しないもの」が含まれていたことであった。そのため、規程を分かりやすく修正する必要があることから、下記の通り改正を行いたい旨が説明された。

4) 評議員・役員選挙規程の改正・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料4-①②

- ・ 資料4に沿って説明された。
- ・ 「被選挙権を有しないもの」に関連する第8条、第12条を変更及び追加した。これにより、選挙前に評議員・理事の被選挙権を有しないものを明らかにしたうえで名簿を作成し、理事会に確認後、選挙を実施することとなる旨が説明された。
- ・ 規程について、評議員会での承認が必要なのかどうか質問があったが、定款第17条により、本学会では規程の制定、変更及び廃止に関する事項は評議員会で決議することになってい

ることを確認した。

- ・ 上記の規程の変更について、承認された。

定款第 17 条第 3 号各種規程の制定、変更及び廃止に関する事項・・・資料 5

- ・ 資料 5 に沿って説明された。
- ・ 第 17 条に使用されている漢字(規定→規程)を修正するという変更について承認された。

5) 2020 年度事業計画および予算・・・・・・・・・・資料 6
・・・・・・・・・・資料 7

- ・ 資料 6、資料 7 に沿って説明され、2020 年度は感染症の蔓延と感染予防に関わり、今後の事業および予算には大幅な変更が考えられることが伝えられた。

2020 年度の事業計画及び予算について、以下の意見があった。

- ① 将来構想委員会の報告に関連し、倫理審査を経ていない学部生の卒業研究を学会誌にも投稿できるよう、学会としての倫理審査委員会の設置についてはどのように事業化するのか。
- ② 研究助成金の公募について、現在のようにテーマを決めずに募集する枠と、本学会が推進したい研究テーマを決め、それを実施する研究者を募集する枠に分けて募集することを検討してほしい。
- ③ 編集委員会の予算について、メディカルオンラインへの論文登録費用は予算に計上されているのか確認してほしい。

上記の意見について、①高度実践看護開発検討委員会が倫理審査委員会の役割を担える可能性があること、実施に際しては補正予算を組むことが可能であることが伝えられた。なお、本学会とは別法人ではあるが、聖路加国際大学の研究倫理審査委員会が、外部からの研究倫理審査を担える機関になるという構想があるため、学会独自の倫理審査委員会の設立については、大学の動きを見ながら検討するとよいとの説明があった。また、②研究助成金については今後提案事項を検討すること、③メディカルオンラインへの登録については今後補正予算を組み、新理事会で決定する予定であることが説明された。

以上のような検討を経て、2020 年度事業計画および予算は、承認された。

6) その他

- ・ 第 2 回 輝く女性研究者賞 (ジュン・アシダ賞) への推薦について、本学会より福島鏡氏を推薦することが承認された。

5 報告

1) 2020 年度名誉会員について (学会への貢献について)

- ・ 理事会にて柴田清氏を推薦することが決まった旨、報告された。
- ・ なお、名誉会員証の授与は、例年学術大会で実施しているが、学術大会の開催時期によっては、別の方法を検討する。

2) 第 25 回学術大会進捗報告

- ・ 感染症の蔓延防止のため当初の予定での開催が中止され、延期となっており、2021 年 1 月頃の実施を検討している旨、報告があった。

3) 第 26 回学術大会長挨拶

- ・ 「意思決定と健康と well-being (仮)」のテーマで実施を検討している旨、報告があった。

以上

【配布資料】

資料1：2019年度事業報告

資料2-①：2020年3月期決算書

資料2-②：2019年度決算報告書（全体）

資料2-②：2019年度決算報告書（部門別）

資料2-③：2019年度監査報告書

資料3：評議員・役員選挙結果について（報告）

資料4-①：評議員・役員選挙規程改正（案）

資料4-②：評議員・役員選挙規程対比表

資料5：定款の変更について（対比表）

資料6：2020年度事業計画（案）

資料7：2020年度予算書（全体）

資料7：2020年度予算書（部門別）